


主な肝炎ウイルスと特徴

	A 型	B 型	C 型	D 型	E 型
ウイルス科	ピコルナウイルス	ヘパドナウイルス	フラビウイルス	デルタウイルス	ヘペウイルス
大きさ	27nm	42nm	55 ~ 65nm	36nm	30nm
エンベロープ	無し	あり	あり	あり	無し
感染経路	 経口感染 糞便 - 経口感染 食品 (特に野菜や水) を介して感染	 経口感染 血液感染 輸血 汚染注射針 性行為 母子感染	 血液感染 輸血	 血液感染 輸血 汚染注射針 性行為	 経口感染 糞便 - 経口感染 シカやイノシシの 生肉が主な感染源
潜伏期間	約 4 週間	2 ~ 3 か月	2 週間 ~ 6 か月	不明	5 ~ 6 週間
慢性化	慢性化しない	・ 新生児 ~ 乳幼児 期に感染 → 症状が 現れない不顕性感 染の場合、 大部分が慢性化 ・ 成人期の慢性化 は 5 ~ 10%	50 ~ 80% が 慢性化する	B 型肝炎ウイルス と重感染すること で慢性感染する (2 ~ 20%)	慢性化しない
劇症化	0.1%	0.2%	0.2%	不明	0.3 ~ 5%
ワクチン	あり 中国・東南アジア ・中近東・南米 訪問時は積極的 な接種が望まれる	あり	無し	B 型肝炎ワクチ ンが予防に有効	無し
抗ウイルス薬	無し	あり	あり	-	無し
備考	日本では 60 歳以下で 抗体を持っていない 人が多い		・ 日本には 70 万 人の慢性 C 型肝 炎患者がいる ・ 肝硬変から肝が んに進展する	D 型肝炎ウイルス は、B 型肝炎ウイル スがいないと増 殖できない。 ↓ B 型肝炎ウイルス のワクチンや治療 薬が有効 (ただし 国内では未承認)	・ 妊婦に感染す ると劇症肝炎を 発症する (死亡率 20%) ・ 発展途上国で 問題となる肝炎 ウイルス

技術評論社「ウイルス・細菌の図鑑」より改変

(※ | エンベロープ：エンベロープウイルスにリンク)